

# 東北地方 1か月予報

(6月4日から7月3日までの天候見通し)

平成17年6月3日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

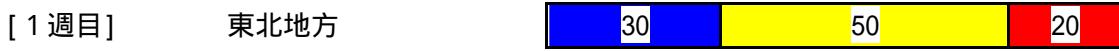
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。  
前線やオホーツク海高気圧の影響で、東北地方は平年同様曇りや雨の日が多いでしょう。  
向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。  
週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目はともに平年並でしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 6月 4日(土) ~ 7月 3日(日)  
1週目 : 6月 4日(土) ~ 6月 10日(金)  
2週目 : 6月 11日(土) ~ 6月 17日(金)  
3～4週目 : 6月 18日(土) ~ 7月 1日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は6月10日  
3か月予報：6月23日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ( )	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	17.6	172.7	146.1	16.5	17.2	18.1
新庄	19.0	143.8	148.5	17.9	18.7	19.5
若松	20.1	126.8	152.8	19.1	19.9	20.6
深浦	17.6	112.5	177.1	16.3	17.0	18.2
青森	17.3	84.7	179.6	16.2	16.9	17.9
むつ	15.9	114.8	160.0	14.9	15.5	16.4
八戸	16.5	105.0	166.8	15.5	16.1	16.9
秋田	19.2	138.9	174.0	17.9	18.7	19.9
盛岡	18.5	120.8	147.2	17.4	18.2	18.9
宮古	16.3	121.4	138.9	15.4	16.0	16.8
酒田	19.7	140.8	171.1	18.5	19.3	20.2
山形	19.8	108.6	149.0	18.9	19.6	20.2
仙台	18.6	146.9	123.8	17.7	18.3	19.0
石巻	17.9	117.9	141.1	17.0	17.6	18.4
福島	20.2	125.5	125.8	19.5	20.0	20.4
白河	18.7	175.3	117.2	17.9	18.4	19.0
小名浜	18.6	154.3	133.0	17.6	18.2	19.1

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6~+0.4	83~113	94~106
東北日本海側	-0.5~+0.2	76~107	94~106
東北太平洋側	-0.5~+0.5	84~107	91~109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.6	-0.6~+0.5	-0.4~+0.2
東北日本海側	-0.6~+0.4	-0.6~+0.3	-0.5~+0.4
東北太平洋側	-0.7~+0.7	-0.7~+0.7	-0.5~+0.3

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成17年6月3日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(6月4日~7月3日):

前線やオホーツク海高気圧の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。  
平均気温は平年並でしょう。

### 1週目(6月4日~6月10日):

明日(4日)と期間の終わりは、低気圧や前線の影響で雨ですが、期間の中頃は、高気圧におわかれ晴れる日もあるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

### 2週目(6月11日~6月17日):

前線やオホーツク海高気圧の影響で、東北地方は曇りや雨の日が多いでしょう。  
平均気温は平年並でしょう。

### 3~4週目(6月18日~7月1日):

前線やオホーツク海高気圧の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。  
一時低温となる見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

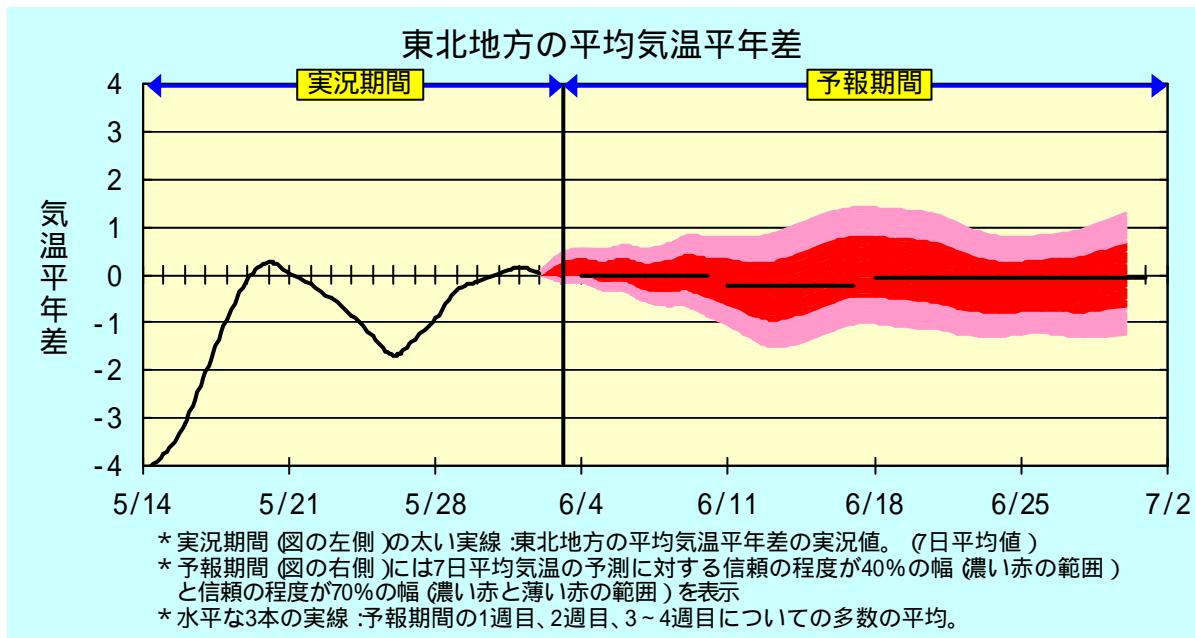
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.0日	3.8日	3.6日	5.6日
東北太平洋側	10.9日	3.5日	3.1日	4.3日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目とも「平年並」と予測している。予報は、数値予報通りとする。

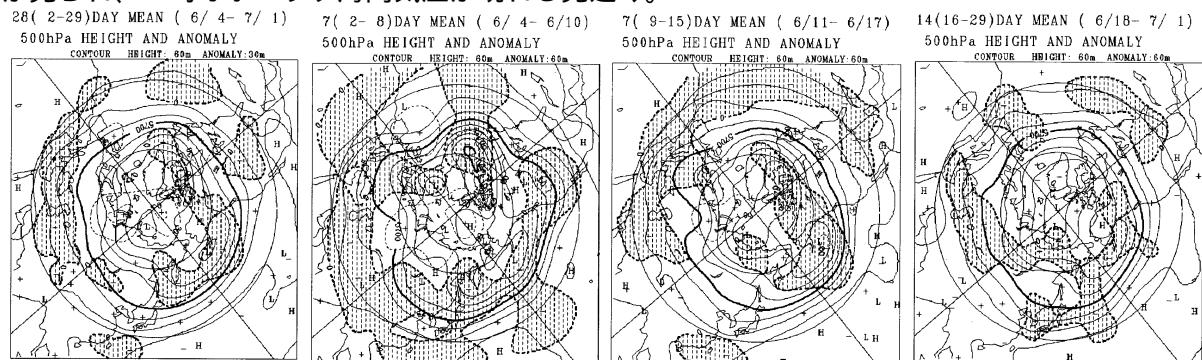
なお、数値予報の信頼度は小さい。



### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

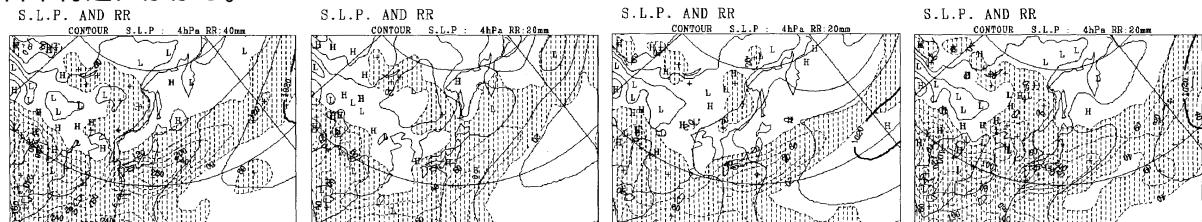
月平均では、日本付近正偏差。東シベリアに偏西風の分流が見られ、一時オホーツク海高気圧の影響を受ける見込み。1週目はオホーツク海付近負偏差。一時上空の寒気の影響をうける。2週目は太平洋高気圧が強まり日本付近正偏差。3~4週目は日本付近弱い負偏差で東シベリアで分流が見られ、一時オホーツク海高気圧が現れる見込み。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、太平洋高気圧の張り出しは平年並かやや弱い。オホーツク海には高気圧が見られる。日本付近は南岸を中心にまとまった降水域が予想される。

1週目は、カムチャツカ半島の南から大陸にかけて低圧部で降水域が見られる。また本州の南岸沖を中心に前線にまとまった降水域がかかる。2週目は、太平洋高気圧は1週目より強い。オホーツク海付近にも高圧部がみられ日本列島付近には等圧線のくびれが見られ、降水域がまとまっている。3~4週目は、太平洋高気圧の北への張り出しは弱い。オホーツク海付近には高圧部がみられ、日本列島の東で等圧線のくびれがみられ、日本の南岸を中心にまとまった降水域が広く日本付近にかかる。

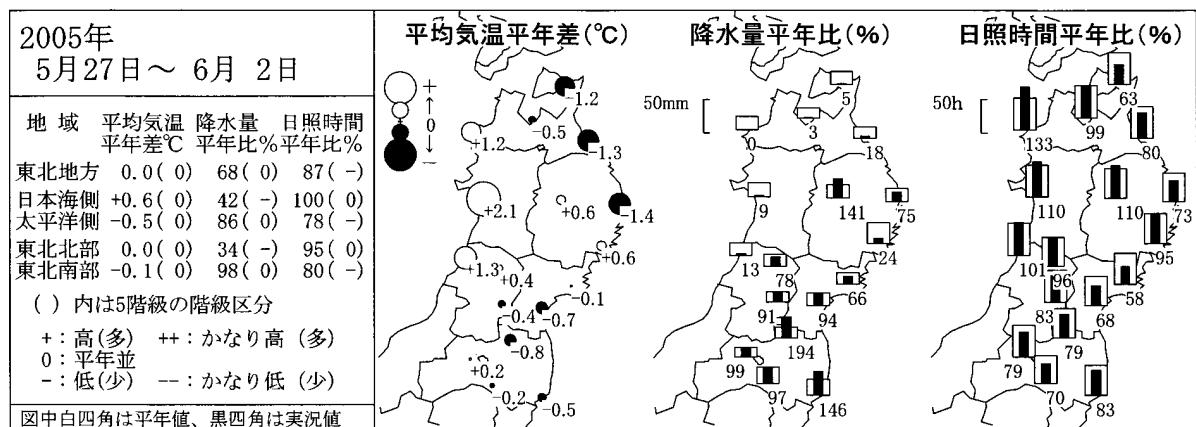


### 4. 最近1週間(5月27日~6月2日)の天候の経過

この期間、27日は上空の寒気の影響で各地で雷雨となり、若松や山形ではひょうを観測した。28日から30日はオホーツク海高気圧の影響で東北太平洋側では曇りのところがあったが東北日本海側では概ね晴れた。31日は低気圧が三陸沖を北上し、東北南部を中心にまとまった雨となった。

1日は高気圧に覆われ晴れたが、2日は本州の南岸に延びる前線の影響で東北南部は曇りとなった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)